

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)

【公開番号】特開 2005-94620 (P2005-94620A)

【公開日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報 2005-014

【出願番号】特願 2003-328042 (P2003-328042)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/32 (2006.01)

H 0 4 L 12/66 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/32 Z

H 0 4 L 12/66 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の情報を登録する第 1 の登録手段と、

接続された端末装置から受信した第 1 の受信情報に、前記第 1 の登録手段により登録した第 1 の情報が含まれるか否かを判断する第 1 の判断手段と、

前記第 1 の判断手段による判断結果に基づいて、前記第 1 の受信情報を破棄する破棄手段とを備えたことを特徴とするゲートウェイ装置。

【請求項 2】

第 1 の情報を登録する第 1 の登録手段と、

接続された端末装置から受信した第 1 の受信情報に、前記第 1 の登録手段により登録した第 1 の情報が含まれるか否かを判断する第 1 の判断手段と、

前記第 1 の判断手段により前記第 1 の情報が含まれると判断した場合には、接続された他の端末へ前記第 1 の受信情報を送信する一方、前記第 1 の情報が含まれないと判断した場合には、前記第 1 の受信情報を前記破棄手段により破棄する第 1 の制御手段とを備えたことを特徴とするゲートウェイ装置。

【請求項 3】

前記第 1 の受信情報は前記端末装置のメーカーを表すメーカーコードであることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載のゲートウェイ装置。

【請求項 4】

第 2 の情報を登録する第 2 の登録手段と、

接続されたゲートウェイ装置から受信した第 2 の受信情報に、前記第 2 の登録手段により登録した第 2 の情報が含まれるか否かを判断する第 2 の判断手段と、

前記第 2 の判断手段による判断結果に基づいて、所定の受信情報を用いずに通信機能を設定する設定手段とを備えたことを特徴とするネットワーク端末装置。

【請求項 5】

第 2 の情報を登録する第 2 の登録手段と、

接続されたゲートウェイ装置から受信した第 2 の受信情報に、前記第 2 の登録手段により登録した第 2 の情報が含まれるか否かを判断する第 2 の判断手段と、

前記第２の判断手段により前記第２の情報が含まれると判断した場合には、所定の情報を用いて前記設定手段により通信機能を設定する一方、前記第２の情報が含まれないと判断した場合には、所定の受信情報を用いずに前記設定手段により通信機能を設定する第２の制御手段とを備えたことを特徴とするネットワーク端末装置。

【請求項６】

前記第２の受信情報はファクシミリ伝送手順情報であるＳＥＴＵＰパケットまたはＣＯＮＮＥＣＴパケットに含まれるマニファクチャコードおよびプロダクトコードであり、前記所定の受信情報は、ファクシミリ伝送手順において非標準モードをネゴシエーションするためのオプション信号であることを特徴とする請求項４または請求項５記載のネットワーク端末装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

本発明は、第１の情報を登録する第１の登録手段と、接続された端末装置から受信した第１の受信情報に、前記第１の登録手段により登録した第１の情報が含まれるか否かを判断する第１の判断手段と、前記第１の判断手段による判断結果に基づいて、前記第１の受信情報を破棄する破棄手段とを備えたものである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

また、第１の情報を登録する第１の登録手段と、接続された端末装置から受信した第１の受信情報に、前記第１の登録手段により登録した第１の情報が含まれるか否かを判断する第１の判断手段と、前記第１の判断手段により前記第１の情報が含まれると判断した場合には、接続された他の端末へ前記第１の受信情報を送信する一方、前記第１の情報が含まれないと判断した場合には、前記第１の受信情報を前記破棄手段により破棄する第１の制御手段とを備えたものである。

また、前記第１の受信情報は前記端末装置のメーカーを表すメーカーコードである。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

また、第２の情報を登録する第２の登録手段と、接続されたゲートウェイ装置から受信した第２の受信情報に、前記第２の登録手段により登録した第２の情報が含まれるか否かを判断する第２の判断手段と、前記第２の判断手段による判断結果に基づいて、所定の受信情報を用いずに通信機能を設定する設定手段とを備えたものである。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１７】

また、第２の情報を登録する第２の登録手段と、接続されたゲートウェイ装置から受信

した第２の受信情報に、前記第２の登録手段により登録した第２の情報が含まれるか否かを判断する第２の判断手段と、前記第２の判断手段により前記第２の情報が含まれると判断した場合には、所定の情報を用いて前記設定手段により通信機能を設定する一方、前記第２の情報が含まれないと判断した場合には、所定の受信情報を用いないで前記設定手段により通信機能を設定する第２の制御手段とを備えたものである。

また、前記第２の受信情報はファクシミリ伝送手順情報であるＳＥＴＵＰパケットまたはＣＯＮＮＥＣＴパケットに含まれるマニファクチャコードおよびプロダクトコードであり、前記所定の受信情報は、ファクシミリ伝送手順において非標準モードをネゴシェーションするためのオプション信号である。